

経営比較分析表（令和3年度決算）

岐阜県 高山市

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法適用	水道事業	末端給水事業	A4	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	1か月20m ³ 当たり家賃料金(円)	
-	72.68	99.08	2,618	

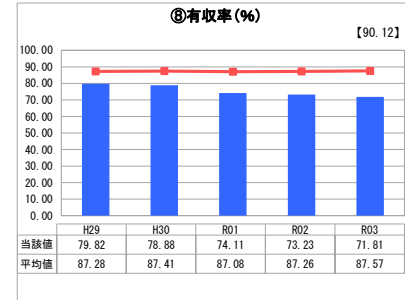
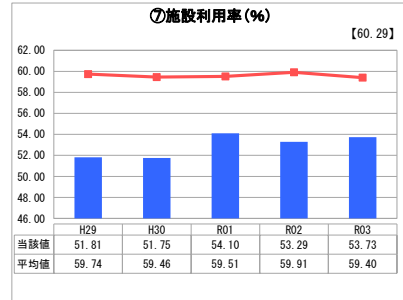
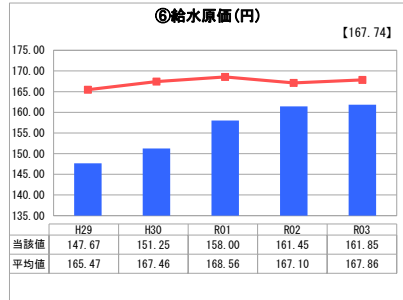
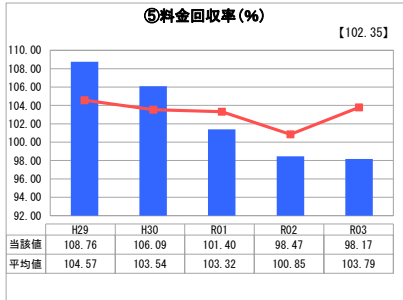
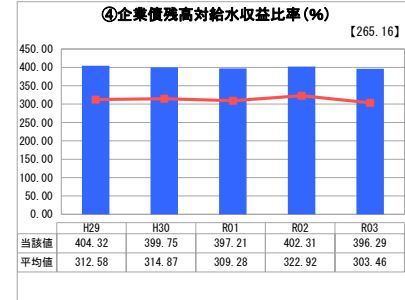
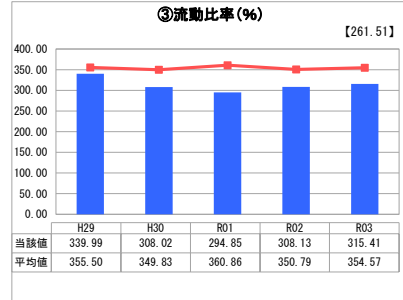
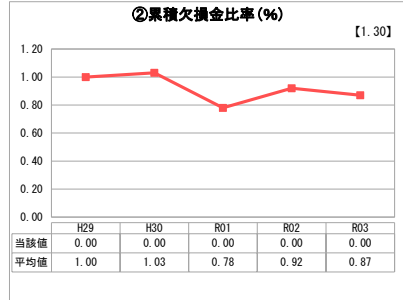
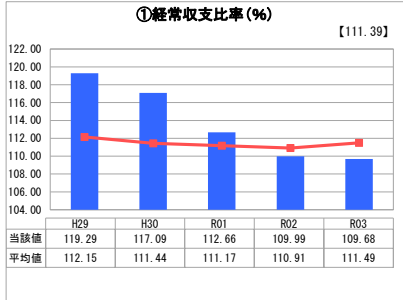
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
85,463	2,177.61	39.25
現在給水人口(人)	給水区域面積(km ²)	給水人口密度(人/km ²)
83,896	168.21	498.76

グラフ凡例

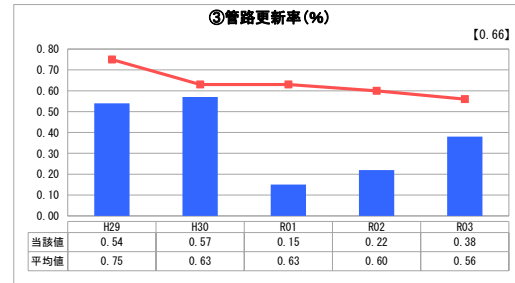
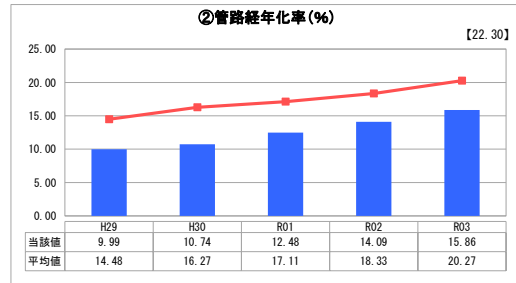
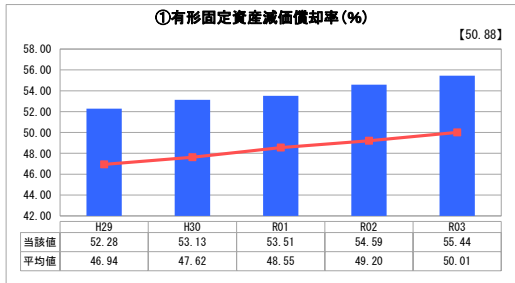
- 当該団体値(当該値)
- 類似団体平均値(平均値)

【】 令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

本市の水道事業は、平成27年度に全ての簡易水道事業を経営統合したため、多くの指標で類似団体平均値を下回っている。

- ・経常収支比率及び料金回収率は、新型コロナウイルス感染症の影響により、宿泊施設をはじめ営業用途の有収水量が減少し低下している。令和3年度もコロナ禍前の水準に回復しなかったため、給水原価も同様の理由により上昇している。
- ・施設利用率は、山間部に集落が点在し、地理的に多くの水源を利用していることや、人口減による必要量の減により平均を下回っている。
- ・企業債残高対給水収益比率は、高い数値を示しているが、旧簡易水道企業債に対する一般会計繰入金により将来の償還資金は確保できており、企業債残高の計画的な減少は図れている。
- ・有収率は、特に低い地域での集中的な漏水調査及び管路修繕により改善に努めている。

2. 老朽化の状況について

管路等の更新基準及び更新の優先順位を定めて、単価が高い大口径の基幹管路から更新しているため、更新延長が短く、平均値を下回っている。引き続き、計画的に老朽化対策及び耐震化に取り組み、令和16年度までの基幹管路の耐震化完了を目指している。

全体総括

高山市水道ビジョン・経営戦略に基づき、中期的な視野で必要となる事業量を把握し、事業費の低減と平準化及び投資と財源の均衡を図りながら事業を進めることとしているが、人口減少やコロナ禍以降の給水収益の減少が大きな課題となっている。今後、水需要に応じた水道施設の統廃合や管路のダウンサイジングにより効率的な施設更新を進めるなど必要な投資と将来負担のバランスを考慮しつつ、料金改定も視野に入れ、健全で安定した水道事業経営に継続的に取り組んでいきます。